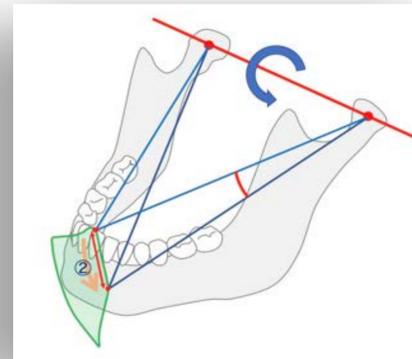
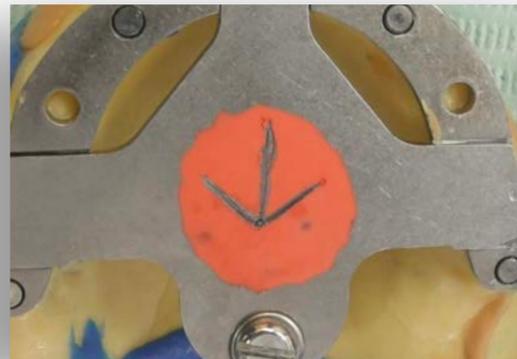


ReAF 特別セミナー

下顎運動と中心位の概念・採得法を学ぶ2Days



全部床義歯臨床はもちろん、多数歯欠損症例の部分床義歯症例の補綴治療を行う際には、下顎運動や下顎位への理解が必須です。特に中心位への正しい基礎知識とその誘導法を学んでおくことは、中心位を顎位として採用するしないに関わらず、顎位の設定が難しい症例の全顎的補綴治療を成功させる上で、非常に有用なオプションになると言えます。

また、2017年のGPT-9において、Centric Relation が、よい方向へと統一されたかに思われますが、本国では本質的なものが正確に伝わっておらず、いまだに情報が錯綜し、疑問を持たれている風潮を感じます。

そこで本セミナーでは、二日間に亘って、下顎運動や下顎位の基礎知識に加えて、中心位に関する歴史やその背景、意義など様々なエビデンスを学ぶコースです。

また、中心位採得のためのテクニック（リーフゲージテクニック、ドーソン誘導法、ゴシックアーチ等）について、デモンストレーションを通して習得していただきます。

日時

2024年 11月 23日 (土曜日)
15:00~18:30

24日 (日曜日)
9:30~16:00

※ PM: デモンストレーション

- 下顎運動及び顎関節の基礎知識
- 中心位に関する基礎知識とエビデンス
- デモンストレーション（相互実習）

受講
費用

¥ 143,000 (消費込)

会場

HDAセミナー室（大阪・福島）
大阪府大阪市北区梅田2丁目6-20
パシフィックマークス西梅田2F

定員

現地 15名 オンライン 10名

監修

松田 謙一

(ハイライフデンチャーアカデミー 学術統括責任者)



講師紹介

植村 晃一

経歴

- ・2006年神奈川歯科大学卒業
- ・2006年日本大学松戸歯学部歯周治療科 研究生
複数開業医にて勤務
- ・2013年植村歯科医院M&Aにて継承

所属

- ・日本歯周病学会
- ・日本顎咬合学会
- ・JPDA
- ・デジタル歯科学会
- ・JIPI (Japanese Institute of Periodontology&Implantology)
- ・IPSG咬合認定医



日々の補綴治療で、現在の顎位を利用して進められる場合は問題ないが現在の顎位に問題があり新たな顎位（補綴治療位）を決めるのに私自身悩む時がある。その際、長く使われている中心位という概念がある。しかし、多くの先生方が臨床に用いているのにもかかわらず悩む事が多いのも事実である。そこで今回は、中心位というものを紐解いていき実際私が臨床でどの様に取り入れて活用しているのかを開業医の目線で皆様にお伝えできればと思います。

前川 芳徳

経歴

- ・長崎大学歯学部卒業
- ・長崎大学歯科麻酔科所属、退職
- ・nina dental clinic 勤務、退職

現在：田村歯科医院 + 神山歯科(full mouth reconstructionと矯正 担当)



大学卒業後、錯綜する様々な情報に疑問を抱き、すべての分野で、各分野の海外の専門医教育を受けた専門医に師事する。

アメリカやスウェーデンの専門医から臨床に対する姿勢を学び、目の前の患者のために何が最善なのか、本国の保険診療に囚われない、本質的なEBM・EBDに基づいた総合的な臨床を行なっている。

Privateではあるが、その本質的なEBMを少しでも広めるため、友人たちと若手に伝えるための活動を行っている。

問合せフォームより必要事項を入力してください。

お問合せはこちら

info@dentureacademy.org